

JICA 一般公開セミナー実施報告書

公益社団法人日本柔道整復師会
国際部 根来 信也

下記の日程で上記、JICA 一般公開セミナーを実施いたしましたので報告いたします。

日 時:平成25年3月2日(土)14:00~16:00 受 付:13:30

場 所:モンゴル・日本人材開発センター 1階多目的ホール

テーマ:ケガの応急処置について — 日本伝統治療(柔道整復術)を用いて —

主 催:公益社団法人日本柔道整復師会

共 催:JICA モンゴル事務所、モンゴル国立健康科学大学、モンゴル国立健康科学大学附属医療技術大学

後 援:在モンゴル日本大使館、モンゴル国保健省、モンゴル国教育文化科学省

協 力:モンゴル・日本人材開発センター

14:00 — 14:20 来賓挨拶

- ① 在モンゴル日本大使館 大使代理 二等書記官 黒木健太郎様
- ② JICAモンゴル事務所 所長 磯貝季典様

14:20 — 14:25 来賓紹介

- ① モンゴル国立健康科学大学 副学長 D.アマルサイハン先生
- ② モンゴル JICA 事務所 所員 脇坂 豊 様
- ③ モンゴル国立健康科学大学附属 医療技術大学

研究所長 臨床科責任者 バイガル 先生

教師 セレゲレナチメグ 先生

教師 デルゲルマ 先生

- ④ モンゴル日本センター業務調整員 阿部 直美 様



図1 受付風景



図2 ご挨拶(JICA モンゴル事務所 所長 磯貝 季典様)

14:25 — 14:35 開催主旨説明 公益社団法人 日本柔道整復師会 本間 琢英

派遣者・指導者候補紹介

普及員紹介:モンゴル各アイマグより選出されたバグ医師など

協力学学生紹介:モンゴル国立健康科学大学附属医療技術大学 ファーストエイドクラブ

14:35 — 16:00 シンポジウム

- ① 本プロジェクトの経緯ならびにモンゴルにおける医療状況について
モンゴル国立健康科学大学 副学長 D.アマルサイハン
- ② アンケート調査による本プロジェクトの成果について
モンゴル国立健康科学大学付属 医療技術大学
研究所長 臨床科責任者 バイガル 先生
- ③ 柔道整復術の紹介、ケガの応急処置について(実技を含む)
公益社団法人 日本柔道整復師会 本間琢英・根来信也・奈須開生・河村亞希
・横田良介・浪尾敬一・楠美明人



図3 D.アマルサイハン副学長

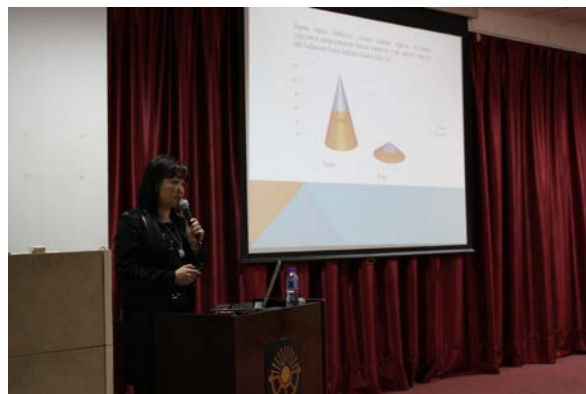


図4 バイガル研究所長 臨床科責任者



図6 モンゴル語による寸劇メンバー



図7 三角巾を用いた応急処置法練習

16:00 — 16:05 閉会の辞

今回、日本伝統治療(柔道整復術)指導者育成・普及プロジェクトの事業の一環として、上記セミナーを開催した。ウランバートルの医療関係の大学をはじめ、モンゴル・日本人材開発センター、JICA モンゴル事務所のご協力もあり、参加者数は約300名であった。シンポジウムではカウンターパートより、モンゴル国全体の医療状況ならびに今までのモンゴル国地方バク医師を対象に行ったアンケート調査より成果が詳細に報告された。

我々はケガの応急処置の重要性をわかりやすく伝えるために、モンゴル語で寸劇を行い、その後モンゴル国で購入した布地から作製した三角巾を用いて、応急処置を参加者同士で実際に練習を行った。

モンゴル国では怪我をしても我慢強い人が多く、怪我をしても放置することもある。モンゴル国で多い肩関節脱臼を取り上げて、寸劇形式で柔道整復術による診察、整復、固定、生活指導(飲酒の禁止、固定期間の厳守)の場面を一般の方々向けにわかりやすく説明することを目的とした。

寸劇形式は参加者より高い関心があり、更に創意工夫してケガに対する応急処置の重要性を啓発していく予定である。なお、本セミナー開催にあたり、関係各位に深謝いたします。